

令和5年度NPO活動促進助成事業 採択事業の紹介 (事務局作成抜粋版)

採択事業	SDGs推進事業	採択分野	パートナーシップ分野	交付決定額	189,000円
法人名	特定非営利活動法人 みんなで元気				
事業名	わこう銀色プロジェクト 事業				

事業収支予算

収入

項目	金額(単位:円)	主な内容
助成額	189,000	
自己資金	21,264	
事業収入等	0	
その他	0	

支出

項目	金額(単位:円)	主な内容
会場費	0	
通信運搬費	0	
旅費交通費	0	
消耗品費	141,864	コピー用紙等
備品費	0	
委託費	0	
謝金	0	
人件費	68,400	運営スタッフ等
その他	0	

事業費合計 210,264

事業計画

事業の目的

- 和光市が課題としている「資源ごみ分別の推進」に、高齢者が課題解決の担い手として参画し、ゴミの減量や循環型社会を目指すこと。
- 高齢者が社会との繋がりがや周囲との連携を更に深め、地域での安心した暮らしが長く続けられるようにすること。

事業の内容

- 高齢者が新聞紙で「雑紙分別用のゴミ袋」を作る
 - ・課題解決の手段の一つとして活用すると同時に、課題に取り組む仲間を増やし、活動の輪を広げる。(和光市観光課から助言・協力)
- 「雑紙分別用のゴミ袋」を新聞紙で作る「わこう銀プロサロン」を定期的に開催
 - ・地域の居場所として位置づけ、カフェタイムのお喋りや、口腔トレーニング、体操等も実施する。(同市長寿あんしん課から助言・協力)
- 講習会の実施
 - ・「新聞紙で作る雑紙分別用ゴミ袋の作り方」について地域へ出向いて講習会を開催し、課題への担い手を増やすと共に、ゴミ分別が進んでいない現状や必要性についても伝える。

事業の効果

- 「雑紙分別用新聞紙ゴミ袋」の配布と同時に「雑ガミの分別推進」の必要性を発信する事で、ゴミの減量やリサイクルへの意識が高まる。
- 活動の継続による、ゴミ減量やゴミ分別が当たり前の事として定着する。
- 高齢者が作った新聞紙の分別袋を若い世代が使うという繋がりができれば、課題に取り組む市民共同体として、双方が必要な存在になる。
- 高齢者が役割や生きがいを持って生活する事は、自己肯定感と共に生活の質を向上させる事に繋がる。
- この活動をきっかけに、SDGsへの関心が高まり、自分事として考え行動する人が増える。